

# 「地域協働プロジェクト2005 冬バージョン」の展開について

国土交通省北海道開発局  
地域協働プロジェクト2005プロジェクトチーム

北海道開発局は、平成16年度から「地域協働プロジェクト」の取り組みを開始いたしました。

本プロジェクトは、北海道開発局が実施する社会資本整備はもとより、既存の施設や知恵・経験・技術など全てを提供し、職員一丸となって、地域の人々と協働して活気があり住みやすい北海道らしい地域社会を実現する方策を進めるものです。「地域協働プロジェクト」の名称には、「地域に密着し、地域の方々と協働して顔の見える開発行政を目指したい」という意味を込めています。

平成16年度は、道内186市町村、夏・冬合わせて48プロジェクトを実施し、7,200人に及ぶ方々にご参画いただきました。

平成17年度は既に「地域協働プロジェクト2005」夏バージョンとして55プロジェクトを実施しており、引き続き冬の北海道が持つ冬の魅力を活かした23プロジェクトを推進します。

## ○テーマ1「国民に健康な食を提供」—信頼できる北の大地から— 1プロジェクト

北海道は、恵まれた自然環境や雄大な景観を背景に、広大な農地や水産資源を活用した効率的な食の生産が行われています。

北海道開発局は、農業者や地域の方々と協働しながら、「健康な食」の生産や、それを支える

「健全な土と水と豊かな自然」の創造に取り組んでおり、今回の協働プロジェクトでは、将来の担い手である高校生や地域住民の方々と協働して農村地域の未来像を描きます。



### 地域の高校生等と協働で農村の“未来”を発見します

地域の高校生を含む住民の方々の参画により農業振興策や農業農村整備事業の構想を検討いたします。平成17年度は、妹背牛町と真狩村でワークショップ等を開催し、高校生等の地元の方々との意見交換を行います。

## ○テーマ2「北海道観光の魅力UP」 7プロジェクト

豊かな自然や景観、明瞭な四季、雪など北海道は観光面でも「アジアの宝」と言うべき素晴らしい資源があります。

積雪寒冷地である北海道では、このシーズン、障害となりがちな雪についても観光資源として再認識するとともに、安全で快適な観光を支援する

ことで通年で北海道の魅力を提供することができます。

北海道開発局は、地域の方々と協働して、雪を活用したイベントの開催・支援、美しい景観の演出、冬期道路情報の発信などを行い、北海道観光の魅力アップを図ります。



知床地域における雪壁ウォーク

春の開通を控えた、知床峠の除雪したての雪壁沿いを観光客や地域の方々に歩いていただき、知床の自然の厳しさと大パノラマの素晴らしさを体感してもらいます。

実施時期：平成18年4月下旬（予定）



ぼかぼか村



冬まつり会場の休憩所、情報発信基地として、多くの来場者が集まります。

旭川冬まつり実行委員会と連携し、来場者の休憩所となる「ぼかぼか村」を設置し、パネル展による開発事業の紹介とともに、上川管内市町村のパンフレットコーナー、地場製品の展示販売を設け、冬まつりを盛り上げます。

実施時期：平成18年2月8日～2月12日

地元イベントを活用した開発事業の情報発信

## ○テーマ3「公共施設の多様な利用」 6プロジェクト

北海道開発局は、道路、河川、港湾、農業施設など様々な公共施設を整備しています。

地域の方々の知恵を集め、これらの公共施設を本来の目的に限らず有効活用することによりにぎわい空間や快適な生活環境の形成など、新たな財産として地域に貢献できる可能性を秘めています。

す。

北海道開発局は、地域のボランティアによる冬の快適な歩行空間創出の支援、「雪中植林」によるみどり豊かな地域づくりの支援、港湾施設を活用した幻想的な空間づくりの演出による地域のイメージアップなどに取り組みます。



赤松街道のこも巻き



除雪（融雪機の貸し出し）



砂撒き

冬期ボランティア・サポート・プログラムの全道展開

道路利用者の冬期通行の安全確保のため、地域の方々と協働によるユニバーサル社会の実現を目指し、ボランティアサポートプログラムを全道各地で展開します。



河川敷地の堤内や流域の公共用地において地域の方々やNPOと連携しながら雪中植林を行い、身近な緑の創出を進めます。

実施予定

漁川、旧美唄川 平成18年1～2月頃

尻別川・目名川合流点付近 平成18年2月頃

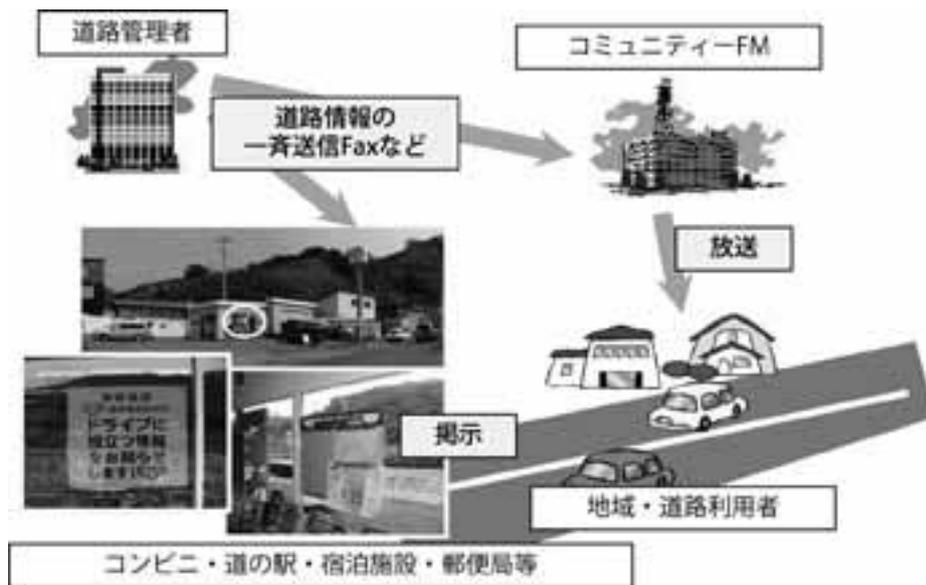
「雪中植林」によるみどり豊かな地域づくりを支援

## ○テーマ4「地域との協働による危機管理体制づくり」 9プロジェクト

北海道では、近年、集中豪雨や火山の噴火、大雪などの大きな災害に見舞われています。

災害に強い地域づくりを進めていくためには、北海道開発局などが行う防災施設の整備とともに、日頃から市町村や地域の方々と連携して防災活動に取り組んでいくことが重要となっていま

す。北海道開発局は、コンビニ、コミュニティFM等の民間と連携した道路情報の提供、市民防災講座の開催などを通じ、地域との協働により危機管理体制づくりに取り組みます。



全道各コミュニティFMと連携して防災情報を提供するとともに、地域に密着した排雪時期などを情報提供いたします。

「コンビニエンスストア」、「ガソリンスタンド」のほか、「道の駅」や「宿泊施設」に道路情報を提供いたします。

従来までの規制情報や規制解除情報に加え、「通行規制事前情報」や「通行規制解除事前情報」も提供します。

民間と連携した情報提供（コンビニ等・地域コミュニティFM放送局）

地方自治体及び防災関係機関と連携し、一般市民の方々及び自主防災組織のリーダー等を対象として、地震、津波、大雨などの自然災害の基礎知識や緊急時の対応等を学ぶ「市民防災講座」を開催します。

実施時期：平成18年3月（予定）

市民防災講座の開催



## 地域協働プロジェクト2005冬バージョン プロジェクト一覧

テーマ及びプロジェクト名		新規 継続	実施開建等
<b>テーマ1 国民に健康な食を提供—信頼できる北の大地から—</b>			
①	高校生等と協働で農村地域の“未来像”を発見します	新規	札幌 小樽
<b>テーマ2 北海道観光の魅力UP</b>			
①	札幌市大通における除雪見学会の実施 ～迫力の除雪作業の様子を体験しませんか～	継続	札幌
②	北海道遺産「石狩川」の魅力在未来に引き継ぐ ～北海道遺産「石狩川を語る集い」を開催します～	新規	石狩川
③	官民協働による冬期道路情報の提供 ～行政と地域が連携して道路情報を発信します～	継続	小樽
④	旭川街あかり計画 ～旭川夜景・新たな魅力の創出～	新規	旭川
⑤	地元イベントを活用した開発事業の情報発信 ～旭川冬まつり会場における「ぼかぼか村」から情報を発信します～	新規	旭川
⑥	知床地域における雪壁ウォークの実施	継続	網走
⑦	地域と一体となった冬期道路情報の提供 ～宗谷地域のポータルサイトの活用～	継続	稚内
<b>テーマ3 公共施設の多様な利用</b>			
①	冬期ボランティアサポートの全道展開	継続	全道（10開建）
②	雪中植林によるみどり豊かな地域づくりを支援 ～地域と協働した水辺林の創出の推進～	継続	石狩川 小樽
③	河川空間の多目的利用 ～冬期には広大な氷原となるダム湖面をイベントに活用～	継続	石狩川
④	河川管理施設を活用した地域交流イベントの開催	継続	旭川
⑤	港湾施設を活かした魅力的な空間の創出 ～北海道遺産「稚内港北防波堤ドーム」にてノスタルジックな空間づくりを演出します～	継続	稚内
⑥	シビックコア地区見学会 —地域に親しまれる官庁整備（過去から未来に向けて）—	新規	本局（営繕）
<b>テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり</b>			
①	民間と連携した情報提供（コンビニ等・地域コミュニティFM放送局） ～地域に密着した道路情報の迅速な提供～	継続	全道（10開建）
②	冬期災害に対応した危機管理演習の実施 ～自治体等関係機関との連携による総合的な防災能力を強化～	新規	札幌
③	冬期ドライブにおける防災情報の提供 ～冬期災害の未然防止に向けて～	新規	札幌
④	市民防災講座の開催 ～関係機関が連携し、地域住民の防災力の向上を支援します～	新規	石狩川
⑤	日ごろから関わりのある川の自主防災活動・防災情報共有の支援 ～地域の市民と行政の繋がりによる活動～	新規	室蘭
⑥	「樽前山火山防災計画」充実化支援 ～広域的機関連携で初動対応の具体的検討を推進～	新規	室蘭
⑦	釧路川水系の水質汚濁事故防止に向けた体制の強化	新規	釧路
⑧	異常気象時における除排雪体制の構築について ～釧路市における豪雪時の対応を検討～	新規	釧路
⑨	留萌市商店街と道路管理者の連携による除雪計画の検討	新規	留萌

※プロジェクト数：23件（新規13件、継続10件）

（問い合わせ先）

国土交通省北海道開発局  
港湾空港部港湾計画課長  
開発監理部開発計画課地域連携推進室長

代表電話 011-709-2311  
栗田 内線 5611  
真田 内線 5462